

同窓生

こんにちは。高森23回生の高橋 蔵人 (Stuart)です。現在は、仙台市寺岡にある株式会社ミヤックスで経営に携わりながら、営業活動など広く業務を担当しています。息子が生まれて再訪した明泉幼稚園で、20年ぶりにジュディス先生にお会いしました。すぐ私に気づいてくださり、「あのいたずらっ子だったスチュワート!?!」と再会を喜んでくださいました。いつも悪ふざけばかりで授業中に立たされるような子でしたが、フレンドの



こは、高森23回生の高橋 蔵人 (Stuart)です。現在は、仙台市寺岡にある株式会社ミヤックスで経営に携わりながら、営業活動など広く業務を担当しています。息子が生まれて再訪した明泉幼稚園で、20年ぶりにジュディス先生にお会いしました。すぐ私に気づいてくださり、「あのいたずらっ子だったスチュワート!?!」と再会を喜んでくださいました。いつも悪ふざけばかりで授業中に立たされるような子でしたが、フレンドの

プリミアスクール卒業生が
ホッケーの本場で奮闘中

プリミアエレメンタリー卒業生の江種大介君 (Ethan)は、小学生の頃にアイスホッケーに興味を抱き、クラブチームで練習を積んでいましたが、もっと強く高いレベルの選手になるためにはホッケーが盛んで強い国に行くべきだと考え、ご両親の賛同も得て中学1年の夏からカナダの中学校に留学し、現在も高校に通いながら日々努力を重ねています。去る7月12日と13日、一時帰国した江種君が両園プリミアハイスクールの生徒達にこれまでの体験や今後の目標などをお話してくれました。

中でも印象的だったのは、プリミアで英語力を身につけていたことで学校のクラスや勉強にスムーズに順応できたこと、そして、

今年の夏に北米 National Hockey League*主催のキャンプに最年少で招待されたことで、今後はNHLの日本人プロ選手になる夢を叶えるため、ホッケー強豪チームを有するアメリカの大学進学を目指しているとのことでした。好きなことを身につけて夢を持つことは非常に大切であり、英語がその夢の幅を広げてくれるという先輩の言葉は、熱心に耳を傾けていた生徒達の心に深く響いたことでしょう。

*National Hockey Leagueはアメリカとカナダのプロホッケーチームで構成するリーグです。



Bible verse 聖書

Series -16 ほんとうの愛

ある法律学者がイエス様を試そうとして、「先生。律法の中で、大切な戒めはどれですか?」と質問したことが聖書の中に書かれています。それに対して、イエス様は次のように答えました。

「心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。」これがたいせつな第一の戒めです。「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。律法全体と預言者が、この二つの戒めにかかっているのです。

＜マタイ 22:37-40＞
神様を心から愛すれば、常に神様のことを考え、神様を喜ばせようとし、また、隣人を自分自身のように愛すれば、その人に害を与えるようなことはしません。使徒パウロが書いた手紙の中でも、そのことに言及しています。

だれに対しても、何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことについては別です。他の人を愛する者は、律法を完全に守っているのです。「姦淫するな、殺すな、盗むな、むさぼるな」という戒め、またほかにどんな戒めがあっても、それらは、「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」ということばの中に要約されているからです。愛は隣人に対して害を与えません。それゆえ、愛は律法を全うします。

＜ローマ書 13:8-10＞
また、イエス様が十字架にかかって死刑になる前の晩に弟子達に話した言葉の中でも、愛について多く語りました。その中で次のような言葉があります。

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。人がその友のためにいのちを捨てるといふ、これよりも大きな愛はだれも持っていません。

＜ヨハネ 15:12-13＞

TOEFL Jr.で
優秀なスコアを収める
プリミアハイスクール生

表紙: 金木犀の香りが秋を連れてきました。望はますます青く、木々も美しく紅葉するこの季節、園もさまざまな行事で色彩豊かです。

Good

明泉/キャラクターのスタンプ発売中です!

聖書が教える 道徳。

そのように語って、その晩のうちにイエス様は逮捕され、翌日には十字架にかけられ殺されました。イエス様の十字架の死は、究極の愛です。創造主であるイエス様が、被造物である我々人間の罪の汚れを清めるため、また私達を永遠の滅び(地獄)から救うために、自分の命を投げうったのです。このように「愛」とは、単に「大好き」ということではなく、自分のことよりも相手のために何かをしてあげることであり、そのためには犠牲を払うことでもあります。自分の罪深さを認識し、イエス様がどんなに私達を愛してくださったの理解したときに、私達も神様を愛するようになり、また隣人も愛するようになり、くりかえられて行くでしょう。最後にもう1か所、結婚式の時によく読まれる聖書の言葉を紹介します。

愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、不正を喜ばずに真理を喜びます。すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。愛は決して絶えることがありません。

＜第一コリント 13:4-8＞

これは、神様が示してくださった本当の愛の姿です。それは、自分の利益のためではなく、隣人の喜びのために生きることです。罪深い私達のありのままの心はこの反対ですが、イエス・キリストがこのような愛を示してくれたことを知れば知るほど、私達もこのような姿に変えられていくでしょう。

キリストの犠牲的な愛を知っている皆さんは、自分のことばかりではなく、友達のために生きることをいつも考えてみてください。神様を愛し、周りの人を愛して助ける人は、生きる真の喜び、永遠に続く喜びを持つことになり、ます。

ハイスクールとプリミアハイスクールでは、希望者が年2回、TOEFL Jr.®を園で受験しています。近年では世界の受験者の中で数%しかいない850点以上の上位スコアを取るプリミア生徒を初め、800点以上を取る生徒が多く出ています。TOEFL Jr.は英語を読む力と聞く力を測定する中高生向けテストで、英語によるコミュニケーション力向上に重点を置くハイスクールの英語学習において、目標を持って意欲を高める一つのツールとなっています。

*TOEFL Jr.の800点を英検に換算すると2級に、850点は準1級に相当し、大学の入学試験で英語資格保持者として優遇されるTOEFL iBTやTOEFL ITPへの足がかりとなります。



今年から850点以上のスコア取得者には賞状が届くようになりました



Friends
MeySen Academy Newsletter フレンズ

No.184
AUTUMN
2018
宮城明泉学園ニュースレター



発行日: 2018年10月18日 発行: 宮城明泉学園 www.meysen.ac.jp
Friends Newsletterは、幼稚園からハイスクール、同窓生などに関する最新ニュースや行事のお知らせなどをお届けする学園ニュースレターです。

FC4 日帰り旅行

FC5 軽便旅行

年中・年長の
芋ほり

父親参観日

1学期にプリミアで働く
インターンの先生達

A TASTE OF AUTUMN

Jamboree

年中・年長の

アート活動



これらの活動の様子を明泉のブログ「ベルソナ通信」に掲載しています。
今後の活動もブログで随時紹介してまいります。

20年ぶりのアメリカ研修旅行引率

今年の夏、1997年以来20年ぶりに丸山グループを引率してアメリカ研修旅行に行きました。台風によるフライト欠航やヨセミテ国立公園周辺の火事で一部旅程は変わりましたが、それ以外は以前と全く同じルートで非常に懐かし、ハワイでは海水浴客を守るライフガードや子供達の昼食にサンドイッチを持ってくるケータリング会社のスタッフなど、20年前の私を覚えてくれた人達との驚きの再会もありました。
何より、この研修旅行は子供達にとって最善かつスムーズに予定が進められ、観光の部でもサンフランシスコ、ディズニーランド、シーワールド、ハワイと、アメリカ観光のベストスポットを見学し、本当に一生の思い出になる場所を選んで計画されたものだと感じることができました。
実際、子供達は夢の中にいるような明るい笑顔で毎日過ごし、歓声が絶えませんでした。

た。この旅行に参加させてくださったご両親や祖父母の方々への感謝の気持ちも、おのずと湧いてきたようです。
以前からの旅程を継承する一方で、大きく変わったことがあります。それは、子供達の英語力です。20年前、子供達は単語をつなぎ合わせて会話することが多かったのですが、現在では完全に文章として話すことができ、発音もきれいです。これはGrapeSEEDカリキュラム導入の成果であり、加えて、子供達が日々の授業で頑張って英語を学習し、家庭でもREPを進めていることから生まれた結果と言えます。
子供達も自分の英語力に自信を持って会話している様子や、もっと話したい、もっと勉強して足りないところを補いたいという意欲が随所に見られました。さらには、またアメリカに戻ってくる、留学したいと話す生徒もいて、とても嬉しいと思いました。



中学生を取り巻く環境の変化や燃料高騰による旅費の値上げなど課題もありますが、英語でコミュニケーションを取る環境に浸り、自律の心や集団行動も学べるこの研修旅行には、フレンドクラブでの学習の集大成としてこれからの子供達にもぜひ参加してもらいたいと考えています。



英語部副部長
ナタン・ブローマン
※日本出発時は高森グループと短編コースを引率



1学期にプリミアで働く
インターンの先生達

プリミアスクールでは毎年、アメリカでインターンを募り、5月頃から夏にかけて先生達のアシスタントをしてもらっています。今年も4名のインターンの先生が来仙し、授業やREPの個別指導を初め、サマースクールやキャンプでも子供達のサポートをしてくれました。
これまでインターンを務めた先生の中には、丸山プリミアのベス先生のように正規の英語教師になった先生もいます。インターンとして園に来た先生が明泉や子供達を好きになり、また戻ってきてくれることほど嬉しいことはありません。

わたしは大学生のときにインターンとして明泉に来ました。大学では英語圏以外の人に英語を教えるための勉強(TESOL)をしており、夏の間、日本で英語を教えることはきっと有意義な経験になるだろうと思って仙台に来ました。
親切な先生や生徒と一緒に過ごした日々はとても楽しく、明泉は前向きで力を与えてくれる環境でした。私は再びその一員になり、英語を教えたり神様の変を日本人達と分かち合いたいと考え、明泉の先生になろうと決めました。
初めてクラスを受け持ち、まだまだ学ぶことも多いですが、生徒達は明るく、英語を一生懸命学んで新しいこともすぐ覚えてくれます。そんな生徒達を誇りに思います。教えることは日々挑戦ですが、とてもやりがいがあり、トレーナーや同僚の先生は私がよりよい先生になれるようアドバイスと励ましてくれます。
私をこの場所に連れてきてくださった神様に心から感謝し、子供達のためにベストを尽くしていきます。

丸山プリミア ベス先生



幼稚園の先生達の研修

園では、幼稚園・プリミアキンダーガーデンの先生達を対象に、日本経営教育研究所専任講師の溝上健二先生を講師にお招きして4月から3回にわたり研修会を開きました。
溝上先生は幼稚園の教員として求められる資質について実例を挙げながらご講義くださり、子供達が安心して通える環境をつくると同時に、園の方針を日々の教育で体現してい

く役割を担っていることを再認識する貴重な機会となりました。
また、保育室で行っている10分体育についても、新学期が始まる前にカワの先生による体育研修を受けています。8月には高森で体育を教えてくださいと岩永健吾先生からご指導いただきました。この研修を活かし、2学期も子供達にたくさん体を動かしてもらえよう10分体育を行ってまいります。



アメリカンフェスタでのボランティア活動

去る7月7日と8日、勾当台公園で開催されたイベント「アメリカンフェスタ」では、園の先生9人がボランティアとして参加し、フレンチデューで使用しているロデオマシンでたくさんの方々にカウボーイの雰囲気を楽しんでいただきました。

幼稚園の先生達のボランティア活動

8月末、丸山保育部の先生達がご高齡の方々の施設「ギャラリー杜の音」の皆さんに歌を届けに行きました。吉村先生のクラリネット演奏に始まり、先生達からは歌のプレゼント。幼稚園の子供達と一緒に歌っている「ハローハロー」、入居者の方々も存じの「夏の思い出」や「ふるさと」。そしてアンコールでは、「上を向いて歩こう」を全員で歌いました。
会の終了後、「またいらしてね」という言葉や握ったその手の温かさは、忘れることができません。先生達の歌のボランティアは、今後たくさんの方を笑顔にできるよう続けてまいります。



歌を届けに♪

